

A M D A 調整員 ネパールへ出発

デモ負傷者支援

ネパール民主化要求デモの負傷者支援で、国際医療ボランティアA M D A（本部・岡山市檜津）の谷口敬一郎調整員（三六）岡山市が二十二日、現地に向けてJ R岡山駅を出発した。（6面関連）



A M D A スタッフと打ち合わせをする谷口調整員
（右）J R岡山駅

関西空港からタイ経由で二十三日午後、首都カトマンズ入りする。包帯や注射針、マスクなど段ボール二箱分の医療品を所持。一週間から十日滞在し、医師派遣を視野に情報収集する。谷口さんは「現地の状況を把握して必要なサポートを考えたい」と話していた。

四月上旬からの民主化要求デモでは死傷者が続

出し、ネパール政府が現地のA M D A支部に医療支援を要請。同支部は十七日から活動を続け、デモ参加者と治安部隊の双方の負傷者を治療している。（臼杵正純）